

卒前卒後教育のシームレス化 卒後研修のあり方 について

全国医学部長病院長会議
医学教育委員会

1

卒前医学教育・卒後研修の管轄・管理の現状

全国医学部長病院長会議

文科省 各大学医学部(長会議)
医療系大学間共用試験実施評価機構(CATO) → CBT, OSCE
Student doctor, 参加型臨床クラークシップ(72週以上)
post-CC OSCEのあり方
日本医学教育評価機構(JACME) → WFME基準の医学教育プログラム)
モデルコアカリキュラム

厚生労働省 大学病院(長会議)、臨床研修病院
医師国家試験: 3日・500問から2日・400問へ、臨床に即した問題。
→ 実技試験としての **post CC OSCE?**
医道審議会臨床研修部会 → **初期臨床研修のあり方**

日本専門医機構、学会、日本医師会、病院団体
19基本診療科
サブスペ、生涯教育

卒前
医学
教育

CBT, OSCE

臨床
クラークシップ

postCC-OSCE

初期臨床
研修

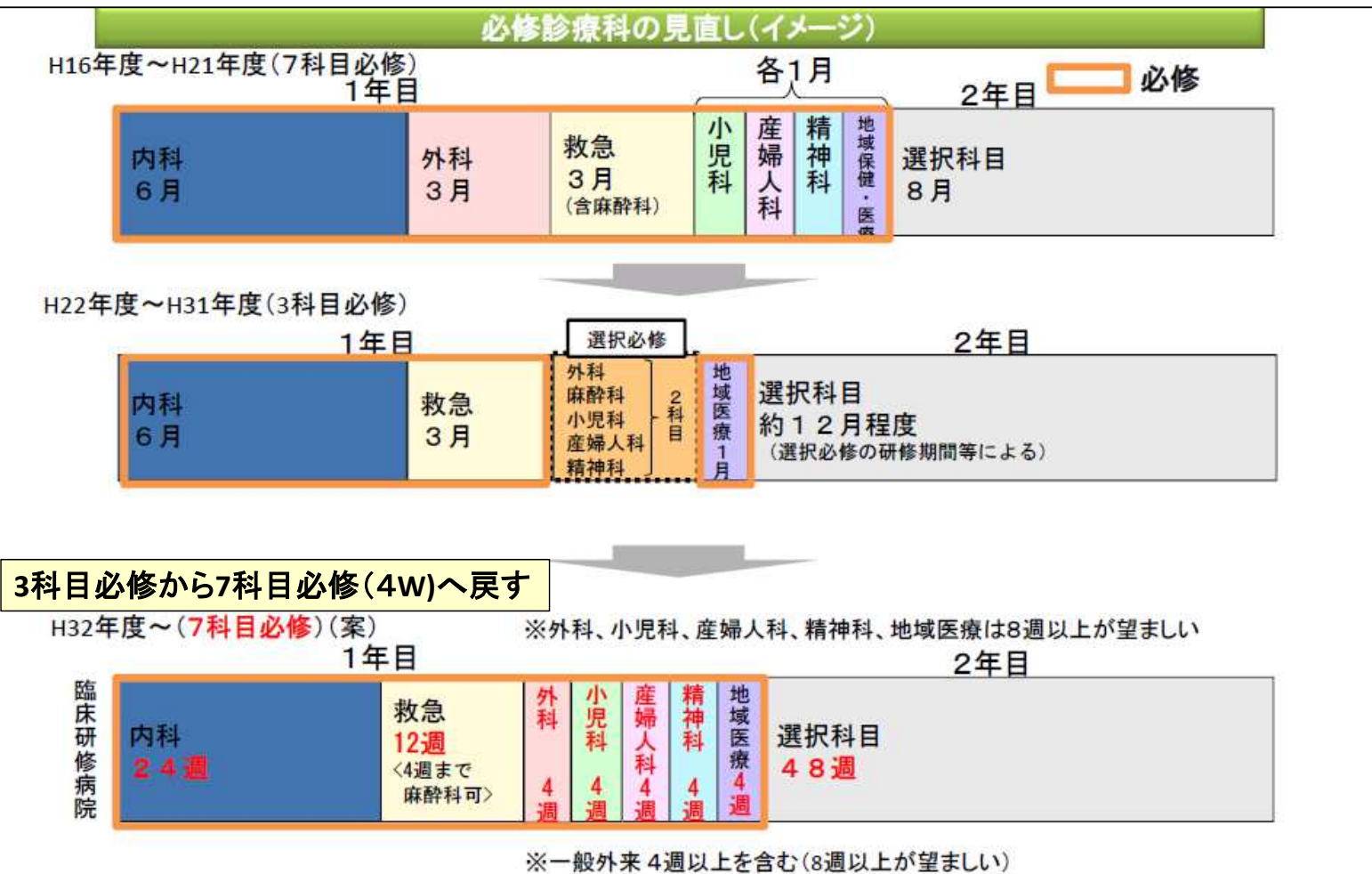
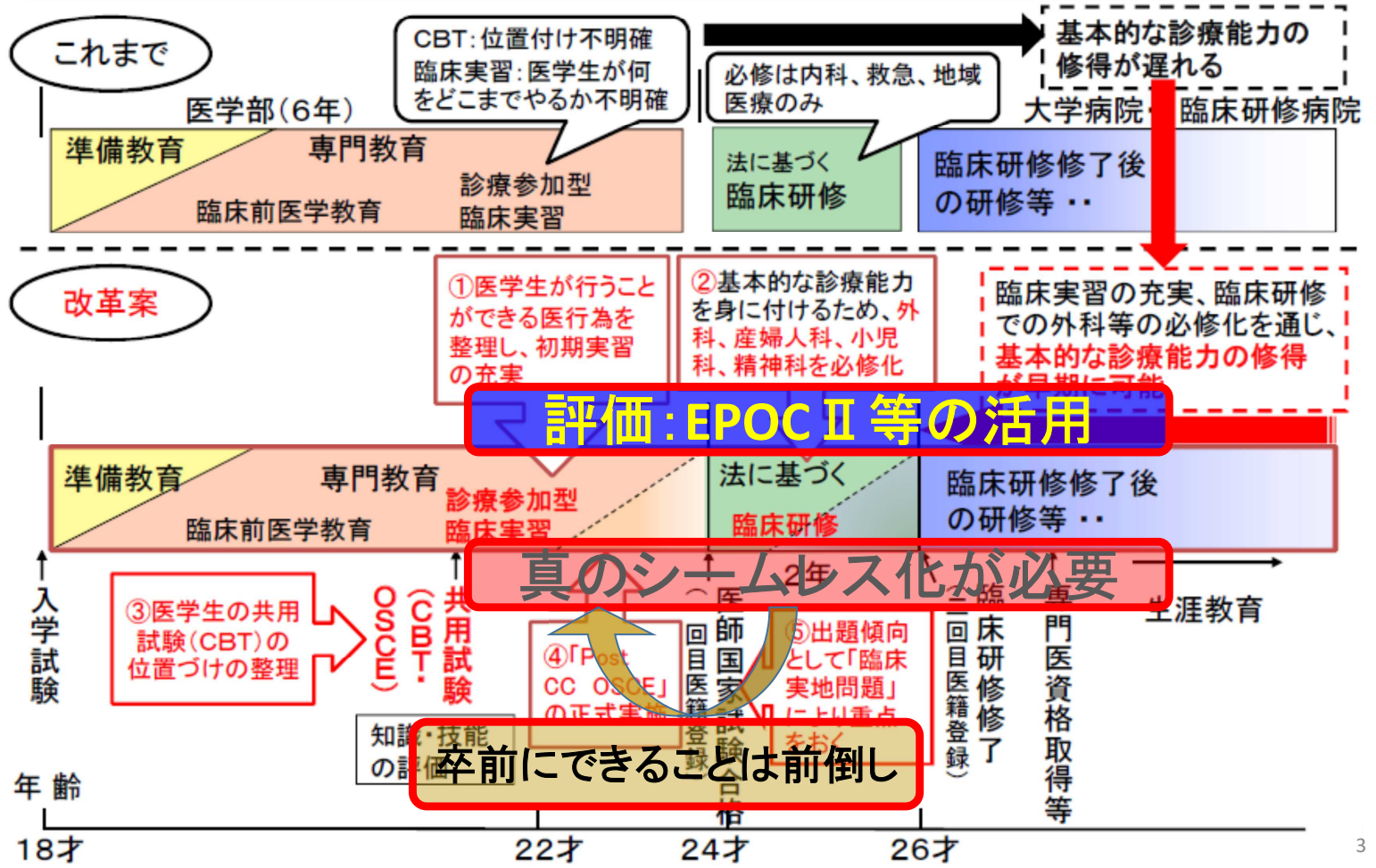
国家試験

専門研修
(基本19
診療科)

サブスペ
生涯教育

2

総合的な診療能力を持つ医師のシームレスな養成



4週間では学生実習と変わらないのではないか？ 将来“医師”としてどこまでできるようになるのか？